

令和6年第16回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

令和6年11月21日午後6時高砂市教育委員会を高砂市役所南庁舎2階会議室3において開会

出席者

教育長	玉野 有彦
委員	吉田 美香
委員	山名 克典
委員	神尾 信作
委員	吉屋 章

出席事務局職員

教育部長	木田 匠	教育推進室長	福本 典子
学校教育室長	平山 健二	学校教育室参事	矢野 仁之
教育総務課長	石原 里美	生涯学習課長	四方 亮輔
学校教育課長	福永 慎也		

本日の会議に付した事件

協議事項

- 1 令和6年高砂市議会12月定例会提出議案に係る意見の聴取について

報告事項

- 1 米田小学校ベランダ庇裏コンクリート剝落について

議 事 協議事項1 令和6年高砂市議会12月定例会提出議案に係る意見の聴取について

○教育長 協議事項1 令和6年高砂市議会12月定例会提出議案に係る意見の聴取について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 市長の方から12月定例会提出議案に係る意見の聴取がございました。
提出議案は指定管理者の指定についてと第6回令和6年度一般会計補正予算です。

指定管理者の指定では、施設名称は高砂市図書館で、指定管理者となる団体は東京都文京区大塚3丁目1番1号のTRC高砂、代表構成団体は株式会社図書館流通センター、代表取締役は谷一文子氏で、指定の期間は令和7年4月1日から12年の3月31日までの5年間となっております。

業者選定については、公募型のプロポーザル方式の募集で2者公募があり、選定委員会でプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、審査項目に基づき評価を行い、総合評価点の第1順位を優先候補者としたものでございます。このTRC高砂は、今まで2期10年間にわたり指定管理者として実績のある団体となっております。

第6回令和6年度一般会計補正予算では、歳入歳出予算の人件費の補正として、職員の扶養手当で異動に伴う増額補正7万8,000円、物件費の補正として小学校と中学校運営管理事業で特別支援学級用の諸備品とサポートルームの空調設備に関する費用555万9,000円と758万2,000円、各中学校補修事業で松陽中学校と宝殿中学校の特別支援教室の増設に伴う空調設備に係る費用の不足分110万円、情報教育管理事業でウイルス対策ソフト導入委託料の執行残を減額、小学校費と中学校費の教材備品等購入事業で特別支援学級開設の教材備品と天井からついているテレビ、ブラウン管のテレビの撤去費用127万4,000円と53万7,000円を計上するものでございます。

債務負担行為の補正として、小・中学校アスベスト調査業務の委託で令和8年度に改修などを行う工事に伴う調査236万円と143万円を、小・中学校空調設備借上料で小学校と中学校合わせて5億3,479万円を計上するものでございます。こちらは、6ページに主要事業説明書を添付しております。事業内容は市内の小学校、中学校の体育館に空調設備の整備を行うもので、夏場の猛暑下における児童生徒の体調管理や熱中症対策、災害時の避難所の環境改善のために小中学校の体育館に空調設備を設置するもので、来年の7月までに整備をするという計画を立てております。図書館指定管理委託で、5年間の契約として6億9,909万9,000円を債務負担として計上しております。

○教育長 事務局より説明が終わりました。質問をお受けいたします。

○委員 この図書館の指定管理者はいろいろいっぱいやられていて評価が高いと思いますが、次の5年間に関して何かプランとか報告がありましたか。

○事務局 この募集に当たって仕様書では、まだ図書館の利用券の登録をされていない方に登録をしていただけるような内容を必ず盛り込んでくださとか、デジタル人材ということで、新しいSNSの活用をしておりますが、それ以外のものも図書館のサービスとして入れられるものをとということで、そういう人材を必ずつけてくださいというような仕様に変えて募集したところ、新しい業者からは、図書館の外に出て出前講座などをしながら利用登録を呼びかけるとかいう、最低人員の18名のところにプラス1名して外に出ていけるような職員の配置をプラスした内容で新提案がありました。

また、考え方も、仕様書とか、昔つくりました新図書館構想にもあったものを参考にしながら、企業として、全ての高砂市民の選択肢に高砂市立図書館をという、新しく指定管理の方ではこういう理念・方針に基づいて、今までやったことのないサービスを数多く、いろいろな世代に向けた取組を今回は提案してきております。

この5年間ということで、1年目から全てを行うわけではないですけど、計画的に、その細目協議の中でもそういった点を確認しながら、その提案を次の5年間でどういうふうに進めるかを話し合っているようなところですよ。

○委員 図書館のスペースの問題で、そこで勉強する子のスペースが狭過ぎて拡大できないのかという話を聞いたことがあります。それはどうですかね。

○事務局 2階に多目的スペースという設立当時から図書館の行事をするための部屋があり、平日やイベントがないときは自習スペースとして開放してきました。

コロナ禍では感染の予防のため長机の2人掛けを1人掛けにしましたが、試験期間中だけはどうしてもそこがあふれるので、3回ぐらい時間を切って入替え制にしました。

○委員 大学の図書館でなく市民の図書館ですので、構造上1階は本ばかりで、勉強に来た子のスペースの確保はできないということですね。

○事務局 2階の多目的スペースは図書館の本を使って勉強しなくても使っているよという自習スペースが前提で、1階の机があるところは全て、図書館の本を読んだり調べ物のための席で図書館の本来の姿だと思います。他市の図書館でもある話ですが、自習室に来る人たちは今まで本をあまり借りずにそこだけ利用して帰ってしまうので、図書館カードを作った人だけが使えるように変えることで、そういう人たちもカードを作ったから本を借りて帰ろうか、読書もしてみようかとかいう方向になればと考えます。

○教育長 学習室は2期制を取っていて来た人はみんな学べるようになっていてことで苦情が出ない。1階については図書館の本を借りて調べ学習をしているということですね。

- 事務局 自習スペースについては、図書館以外にも交流センターやユアアイ帆っとセンターなど各地区にあり、そういったところも活用してもらえようと広報への掲載を進めているところです。
- 委員 初めの想定よりすごく利用客が増えて、いいことなんですけど、利用者も大学生の受験などがあり、小学生、中学生が1人で行ったときに何か戸惑いがあり、行ったらあかんのかなという声がありました。スペースの拡大はもう無理なんだろうけど、人数が多かったら、何かちょっとスペースを広げるような形があってもいいのかなと思うのです。
- 事務局 平日は40席のうち2割、3割埋まり、土曜日で満席近くになるという状況です。イベントをする場所は基本的に2階の多目的スペースで、前もってSNSのX、フェイスブック、図書館のホームページ、部屋の前のカレンダーでこの日はイベントで何時まで駄目ですよと周知しております。自習用という部屋を高砂市立図書館はつくらなかったの、申し訳ないですけど、今後さらに増やすとかいうのはなかなか難しいと思います。
- 委員 年々、家で勉強しないでどこかに勉強しに行くという子がなぜか増えているんですよね。そうすると、図書館では絶対に賄えないと思うので、そういう落ち着いて集中して勉強できるスペースのことは考えてあげなきゃいけないと思います。
- 教育長 先ほど言われた広報での啓発は進んでいますか。
- 事務局 シティプロモーション室の方が自習のためのスペースを取り上げて進めています。ただ、今、お金を払ってできるところ、カフェとかも増えてきています。公共施設で静かな場所とか机の設置とかお金をかけて増やすというのはなかなか難しいと思います。
- 時代によってニーズも変わってきますので、図書館も入替え制で対応し、問題がさらに顕著になってきた場合はそれに対応していくということは常々考えていますので、引き続き検討していきたいと思います。
- 委員 今、図書館以外にも勉強できるスペースが各地区にあるという説明があったんですけど、その周知はどれぐらいできているのですか。
- 事務局 今回の市全体の自習スペースに関しては、今、調査が回ってきているので、これからの話になります。
- 委員 6ページの主要事業説明書では、空調設備を熱中症対策のため体育館に設置するとありますが、設置イメージの写真を見て、設定温度はどのくらいまでいけるのですか。これは冷やすだけで暖める方はできないのですか。
- 事務局 風が強いエアコンとを考えていただいたらよいかと思います。暖房も除湿もできる機器です。
- 委員 当然めちゃくちゃ暑いときや寒いときに、体育館全体がしのぎやすい気温になるという理解でいいですか。

- 事務局 時間はかかるらしいですけども実際の温度よりも8度ぐらい下がるみたいなことは説明されました。
- 委員 他の学校で使った結果などの調査はされましたか。
- 事務局 導入されている市町が結構ありますので、そちらにも確認し、視察にも伺って体験させていただいています。
- 委員 音の大きさと風量はどうでしたか。バトミントンなど影響がありそうですが。
- 事務局 風は結構強いですが、風量の調節ができます。バトミントンや卓球で風が影響する場合は風を止めていただいて、事前に冷やすという形を取っていただくことになるかもしれません。
- 委員 1つの体育館に何台つけるんですか。
- 事務局 大きさにもよりますが、3台から7台です。
- 委員 空港は天井が高いので上から冷やしますが、これは無駄なく床高が2、3メートルの部分だけ気温が下がったらいよという感じの空調の仕方ですね。
- 事務局 体育館は天井も高いですし、非常に容量が大きいので、断熱もしっかりしないことには全体が冷えませんので非常に莫大な事業費がかかってしまうということが大きな課題でした。でも、早く進め、熱中症対策もしたいということで、上の天井までは暖める必要がないのではないかと考え、フロアにいる子どもたち全体に直接冷たい風を当てる方法を選びました。
- 委員 これは2階からですね。
- 事務局 はいそうですね。
- 委員 高さ3メートル以内ぐらいの空調をきちんとしようということですね。それだいたいと思います。
- 委員 これを設置する工事の期間も随分短いということですが、1つの体育館にどのぐらいの工事の期間があるんですか。
- 事務局 7月までに16校行いますが、基本的に体育館は、大きさは多少違えど規格は同じような感じなので、設置自体にすごく時間がかかるというものではなく、期間を短くするというので今回は集中してやっていただくということになります。
- 委員 授業や部活などに影響はないですか。
- 事務局 もちろん授業などに影響がないようにはやりたいですけども、集中してやりますので、多少、先生方に御協力はいただきたいと考えています。
- 教育長 他にございませんか。
- 委員 4ページの小中学校の運営管理事業は特別教室に冷房がつくということではないんですね。
- 事務局 サポートルームになります。
- 事務局 特別支援学級用の諸備品とサポートルームの空調設備に係る費用になります。
- 教育長 その他、御質問、御意見ございませんか。よろしいか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 教育長 協議事項1につきましては、原案どおり承認して議会に出していくということ
でお願いいたします。

議 事 報告事項1 米田小学校ベランダ庇裏コンクリート剥落について

- 教育長 報告事項1 米田小学校ベランダ庇裏コンクリート剥落について、事務局より
説明をお願いいたします。

- 事務局 米田小学校西棟4階のベランダ庇裏のコンクリートが剥落しました。人的被害
はございませんでした。

1月11日の児童の登校前に学校の教員がこの事象を発見しました。包括管理センターに対応を依頼し、翌12日に教育総務課と公共施設マネジメント室により調査を実施し、同様の事象が起こる可能性がある範囲にバリケードで立入禁止措置を実施するとともに、包括管理センターと調整して、剥落部周辺の不良部を強制的に落とすように依頼いたしました。

あわせて、米田小学校校長先生と協議して、4階だけでなくどの階もベランダとベランダ下には立入りを禁止するようにお願いいたしました。

1月13日に全小中学校校長に、事象の報告と、校内の点検のときに校舎の外壁や軒裏、庇裏に剥落の危険性がないか確認の上御報告いただきたいと文書で依頼いたしました。

今後の対応につきましては、学校からの報告を受けるとともに、包括管理センター並びに公共施設マネジメント室、教育総務課により確認を行いまして、剥落のおそれが発見された場合、順次対策を行ってまいりたいと考えております。

- 教育長 事務局の説明は終わりましたが、何か御質問、御意見ございますか。お願いします。

- 委員 普段の危険箇所のチェックはどれぐらいの頻度でされているんですか。管理センターの職員がされているんですか。

- 事務局 校舎の点検は法定点検で専門家が3年に1回チェック、点検をしております。それと包括管理センターが1年に2回巡回して調査・点検を行っています。また、学校も1か月に1回安全点検ということで施設を点検していただいているところです。そういう点検は重ねていますが、今回、老朽化も進んでいる中で発見できなかったということです。

- 委員 老朽化がずっと進んでいますし、今回、実際にこういうことになりましたので、その頻度を増やすとか何かその辺の対策も必要かなと思います。

- 事務局 昨年度から、まずは法定点検で指摘があったところから予算を確保し、外壁対策としてたたき落としや点検を実施しているところですが、今回、実施しているところ以外に出てしまったということで、その周囲と、ほかにもあるかもしれな

いというところで全ての小中学校を実際に見に行こうとしています。実際に必要な措置を取っていくことで、その件数を減らしていきたいと考えています。

○委員 要するに点検不足ですね。3年に1回専門家が、1年に2回包括管理センターが、学校も1か月に1回校舎点検を行っています。結局見逃していたということですね。校舎が古いからもう一回、きちんと点検をやっていくとしか仕方がないですね。事故が起こらなかつただけよかったですね。

○事務局 おっしゃるとおりで、事故が起きてしまったらとんでもないことですので、これからしっかりと調査していかないとはいけません。ただ、抜本的な対策となると建て替えとか大改修するとかでない、全てを防ぐということは難しいかと思いますが、そうも言われていられませんので、新たな学校づくりの計画の中で、しっかりと改修していくのと併せて、しっかりあらゆる点を公共施設マネジメント室と一緒に調査していき、順次、分かったところから手を尽くすしか方法はないと思っています。

○委員 新たな学校、安全・安心な学校をつくるためには、日々点検して行って、不備なところを早く見つける必要があると思います。それを古いからといって、しょうがないではだめだと思います。予算がつかないから、お金がないからできませんで全部済んできています。

子どもの安全を守るために、「教育のまち高砂」を目指すなら、そこからしっかりしないとだめですね。

○事務局 施設を予防保全まで至らず、事後で事後で対応してきた結果が、このような施設につながっていると思いますので、まずはこれから起きないようにどうしていったらいいかというのをもう一回、公共施設マネジメント室と一緒に考えながら調査し、措置するとともに、今後は建て替えなどをした場合は、しっかり予防保全できるような施設を造っていくというのは絶対に必要と考えています。

○委員 お金がない、先にするものがあると、先送り、先送りになっていてリスクの高いか低いか云々より、見つけたやつは全部片っ端から直していくぐらいの気迫で子どもの安全を守ってほしいと思います。

○教育長 分かりました。

○委員 学校の方からここが危ないとか、ちょっと見に来てほしいというのは言っていないなかったんですか。

○事務局 この箇所については聞いていなかったです。ほかの校舎では落ちそうだと気づいたらすぐに包括管理センターとか、我々に連絡いただいて、その都度対応はしていますが、正直それが追いついていない状態です。

○委員 私たちの家庭の中だと危ないところに子どもを住まわさないじゃないですか。そんな危険性がある建物を使っちゃ駄目ですよ。そういうところが麻痺していますね。何事もなかったから大丈夫ではなく、当たり方によったら死んでしまい

ますよね。そういうことをもうちょっと関係者の方々が真剣に考えてくれたらなと思います。

○教育長 この事案について文教厚生常任委員会では、ここにもうちょっとお金を入れてほしいと教育委員会から市長部局に強く言うということと、調査をすることを公共マネジメント室の方に言ってくださっています。

また、今度、予算要望の会議がありますので、老朽化対策に関しては子どもの安全を守るために、建て替えをするまでの間にも直せるところは直していってもらうように要望していきたいと思っています。

○委員 これに関する管理とか修理点検費用に関する予算というのは十分ではないので、もっと徹底したチェックとか点検をする費用が足りないというような要望の仕方になるんですか。

○事務局 危険な箇所についての改修費用は上げています。

○委員 老朽化は年々進んできているが、事前の管理や点検とかは上がっていなかったのですね。

○事務局 点検についてはないです。

○委員 どういう形で要望するのですか。

○事務局 点検というのは、これが出てきて、もっと点検する必要があるということで、それについて予算要望をしていこうかと思います。

○委員 緊急な予算として一斉に点検をやるぐらいの入れ込みを、覚悟を持ってやってもらいたいです。事故が起こらなかったからいいけど、落ちて下におった子がけがしたら、破片が当たっただけでも大変なことだと思います。

○教育長 予算要望の部分はまた変わってくると思います。
その他質問、御意見ございますか。大丈夫ですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○教育長 報告事項1 米田小学校ベランダ庇裏コンクリート剥落については了承いたします。

令和6年11月21日 午後6時54分 教育長会議の閉会を宣告
